

砥峰高原のすすきと奥播磨のかかしの里 活動報告書

担当：5班

- 【実施日】 2021年10月22日（金）
【集 合】 JR 新大阪駅 一階中央階段付近 8：00
【参加人数】 74名
【天 候】 晴れ時々曇り ちょっと霧雨
【行 程】 8：10 新大阪をバスで出発 → 中国道・播但道 → 神崎南 → 砥峰高原
(全体写真、昼食) → 奥播磨かかしの里(散策) → 大阪駅にて解散

2台のバスで新大阪を出発。少しの渋滞はあったものの、新御堂筋から中国道、播但道を経て、予定通り砥峰高原に到着。全体写真を撮り、1班から順に3.1kmの周遊歩道を散策。いろいろな角度から砥峰のすすきを堪能し、可愛い野草にも出会って楽しい90分を過ごしました。出会った野草はリンドウ、ウメバチソウ、アキノキリンソウ、センブリ、ツリガネニンジン等20種類近く。昼食後バスで約1時間「奥播磨かかしの里」に到着。130体もの「かかし」が出迎えてくれました。村人は13人らしいです。

荷車を引いていたり、畑仕事の人や、消防団員、バス待ちの二人と思わず声をかけそうになります。畑仕事をしていた住人の方が気さくに声をかけてくれました。散策中に「かかし」を製作した方が出てこれ、会ったメンバーの話ではひょうひょうとして、少し人形に似ているそうです。人形への愛情と情熱を持って10年間指導されて、今の生活感のある、あの表情の人形が出来たのだろうと。ちなみに「かかし」の体は新聞紙で作っているとの事です。40分の散策でしたが、ほっこりした気分で帰路につきました。

帰りの車中で岡田先生から「リンドウの花の紫の色は何故鮮やかなのか？」との話がありました。植物も人もUVカットが肌荒れ防止との事でした。

帰路予定外の長い渋滞に巻き込まれましたが、18：30頃無事大阪駅に到着し解散しました。

コロナ禍でのバス旅行。乗車時のアルコール消毒、車内でのマスクの着用、大声で会話をしない等皆さんに協力して頂きました。楽しい時間が過ごせたと思います。

お疲れ様でした。そしてご協力有難うございました。

【所 感】

- ・とのみね高原のすすき、りんどう素晴らしかったです。秋を堪能しました。かかしの里ほかほかしました。
- ・人工物が見当たらない一面のすすきの野原と住民より多いかかしの里。両方とも楽しみました。



砥峰のすすき



りんどう



「かかし」の学校